



園芸作物栽培に関する

これからの対策と Q&A

昨年は記録的な大雪から始まり夏の酷暑、複数の台風による強風と冠水など、我々人間だけでなく農作物にとっても厳しい状況が続きました。天候や自然災害は予測が難しく、ひとりでできる対策は限られますが、昨年の栽培管理と結果をふまえて本年の野菜づくりを活かすべし。

◎作付ける品目や場所を考える

品目や場所を考えるとき、まず考慮しなければならないのは連作につきです。

カボチャ・ニンジン・サツマイモ等は連作に強い作物ですが、サトイモやキュウリ・スイカ等は3年以上間を空けることが望ましいといわれています。

また、アブラナ科(ブロッコリー・キャベツ・ハクサイ等)やナス科(ナス・トマト・ジャガイモ等)は同じ科の連作を避ける必要があります。

【排水性】 野菜を栽培するにあたり、何よりも重要となるのが排水性(水はけ)です。同じ畑でも水はけの良い場所と水たまりが残りやすい場所がありますが、畝を高くしたり畑の周囲や畝間に溝を掘るなどして排水性を高めましょう。

水はけが悪いと根が弱くなり、生育が遅くなるだけでなく病虫害を受けやすくなります。

【その他】 あらかじめ畑の簡単な見取り図を作って、季節ごとの品目や場所を書

いておきましょう。連作の有無や排水性を考慮し、畑をいくつかのブロックに分けることで、効率のよい回し方が見えてきます。畝の向きや溝の場所も併せて書き込みましょう。

◎土づくり

【堆肥】 JAでも堆肥を取り扱っていますが、昨年から水稻の粉殻を粉碎し無償でお渡ししています。

粉殻は堆肥の材料として優れた特性を持っていますので、雑草・落ち葉・野菜屑等を利用して自家製堆肥づくりに挑戦してみましょう。

【石灰】

野菜の多くは酸性に弱く、あらかじめ何らかの石灰質肥料を入れることが基本となっています。


ただし、ジャガイモは石灰を多く使うとそうか病にかかりやすくなります。

堆肥づくり

場所	水はけがよく陽に当たらない 雨に当たらない(ビニール等をかける)
材料	粉殻、稲藁、雑草、落ち葉、野菜屑 米糠、鶏糞、石灰、油粕 他

- ①: 粉殻・雑草・落ち葉を20cmほど積み、水をかける
- ②: ①の上に米糠・鶏糞・油粕などを積む
- ③: ①～②を4～5回繰り返す
- ④: 一番上に雨よけのビニール等をかける
- ⑤: 温度が上がったら切り返す
- ⑥: 切り返した後、温度が上がらなくなれば完成

※水が多すぎると腐敗し、少なすぎると発酵が進みません

お問合せ先  
  
 東部ふれあいセンター内  
 営農生活課 担当: 高橋  
 TEL.0778-51-8004

バックナンバーはJAたんなんホームページ  
<http://ja.tannan.com/> 広報誌をご覧ください。

また、同じ剤を買い足してしまつ無駄も防げます。

【病気の予防】

殺菌剤には病気の予防に高い効果を示すものがあります。

長雨や台風・冠水のおと、病気の発生が懸念される際には、これらの剤を早めに散布しましょう。

【農薬の使用を減らす】

堆肥のところで書きましたが、JAでは粉碎粉殻を無償でお渡ししています。この粉殻を敷き藁やマルチ代わりに使い、雑草や病気の発生を抑えましょう。

また、昨年の5月号でも書きましたが、「コンパニオンプランツを活用(キャベツ&レタス、アウロモロシ&エダマメ)することで農薬の使用を減らすこともできます。

アブラナ科の根こぶ病対策で作付けする『おとりダイコン』もその一例です。

◎ハウスの雪対策

昨年は1～2月にかけての大雪により、管内でも多くの園芸用ハウスが被害に遭いました。

例年この時期は積雪が増えますので、昨年の経験を踏まえて可能な限りの対策を講じましょう。

主なものとして、

- ・ビニールのバタつきやパイプのズレを直す。
- ・3～5m間隔で支柱を設置する。
- ・ハウスの肩部分が広がらないよう、両側の肩部分を針金等で引っ張る。
- ・ハウスの肩以上に積もらないように除雪する。
- ・ハウス内に家庭用ストローを設置する。
- ・サイドの除雪が間に合わない時はサイドを開けるかビニールを破つて、

予防効果が期待できる殺菌剤

農薬名
ダコニール1000
Zボルドー
ジマンダイセン水和剤

雪をハウス内に入れる。

- ・倒壊の危険がある場合、内側からパイプに沿って額縁状にビニールを切る。
- ただし、倒壊が差し迫った場合はハウス内に入らない。

◎植物の生理障害

植物の生理障害とは、養分の過不足や天候不順によって引き起こされる生理的な障害状況のことです。

天候不順による障害への対応は難しいですが、養分の過不足による障害は病虫害同様、適切な管理をすることで対応が可能です。



要素	欠乏症状	過剰症状
N 窒素	・各作物の黄化、矮化 ・キュウリ(曲がり果) ・ナス(落果等)	・キュウリ(尻細り果) ・トマト、ナス(落蕾等) ・スイカ等(ツルぼけ) ・ハクサイ(ゴマ症)
P リン酸	・各作物の葉色の変化 ナス…濃緑色 トマト…赤紫色	・メロン(小斑点症) ・キュウリ(ソバカス状黄化) ・ナス(葉脈付近の黄化斑点)
K カリ	・トマト(すじ腐れ果) ・ナス(葉の白斑) ・キュウリ(尻太り果) ・キャベツ(下葉黄化)	・キュウリ等(葉縁部の巻上がり、葉の凹凸)
Ca カルシウム	・トマト(尻腐れ果) ・ウリ類(変形果) ・キャベツ(心腐れ) ・ハクサイ(縁腐れ症) ・サトイモ(芽つぶれ症)	・トマト(葉縁の枯れ上がり) ・キュウリ(下葉の褐色小斑点)